



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社イメージワン
 コード番号 2667
 代表者（役職名） 代表取締役社長
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所

東

URL <https://www.imageone.co.jp/>

(氏名) 新井 智

(氏名) 菊本 雅文

(TEL) 03-6233-3410

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	718	△26.7	△132	—	△151	—	△169	—
2020年9月期第2四半期	980	33.8	△225	—	△257	—	△266	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年9月期第2四半期	△20.51		—					
2020年9月期第2四半期	△39.81		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,332	1,955	83.7
2020年9月期	2,248	1,884	83.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 1,952百万円 2020年9月期 1,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,400	21.3	100	—	70	—	50	—	6.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年9月期2Q	8,708,600株	2020年9月期	8,303,600株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年9月期2Q	74,538株	2020年9月期	74,500株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年9月期2Q	8,286,941株	2020年9月期2Q	6,692,529株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において、当社が判断したものであります。

当第2四半期累計期間(2020年10月1日～2021年3月31日)におけるわが国経済は、政府の各種経済対策による効果を背景に、景気は一部緩やかに持ち直していたものの、新型コロナウイルス感染症罹患者の増加から一部地域において2度目の緊急事態宣言が発出されました。また、感染拡大防止と経済活動の両立を図る動きがみられるようになりましたが、世界規模では変異株感染が拡大しており、国内でも変異株感染拡大による警戒感から依然として先行きは極めて不透明な状況となっております。

当社を取り巻く事業環境といたしましては、主要分野であるヘルスケア領域において、政府・総務省が推進する医療ICT政策にて「ネットワーク化による情報の共有・活用」、「医療等データの利活用」が挙げられており、また、新設されたデジタル庁の医療分野構想においても「オンライン診療の原則解禁」等も発表されております。これらの実現の為に当社主要販売商品であるクラウド型電子カルテ、医療用画像管理システムは必須アイテムとなっております。また、昨今のコロナ状況から、PCR検査関連システム・商品等の新型コロナウイルス関連商品の需要も一層高まっております。

地球環境領域においては、日本国内において、2050年までに温暖化ガスの排出量を全体として実質ゼロにする政府目標が示され、再生可能エネルギーの積極的活用を図るため規制の緩和や普及促進を見込んだ制度変更、エネルギー基本計画において主力電源化の検討が開始され、社会的需要は今後も高まるものと考えられます。また、トリチウム除去事業においては、政府が福島原発汚染水の海洋放出を発表する中、以前から取り組んでいるトリチウム分離・濃縮実証試験が成功し、技術的に確信を持てる状況になり、実用化に向けての第一歩を踏み出せることとなりました。

当第2四半期累計期間における当社の業績は、売上高718百万円(前年同期比26.7%減)、営業損失132百万円(前年同期は225百万円の損失)、経常損失151百万円(同257百万円の損失)、四半期純損失169百万円(同266百万円の損失)となりました。売上高については、ヘルスケアソリューション事業では『i-HIS』(クラウド型電子カルテ)販売本格化、PCR関連受注増加により前年同期比2倍以上の計上となったものの、再生可能エネルギー分野、太陽光案件の販売予定が下半期に変更となったことから前年同期比26.7%減となりました。しかし、再生可能エネルギー分野でのこの販売予定分を加味すると、売上高は前年同期比でプラスの状況となっております。利益面においては、現状はマイナスの状況が続いておりますが、下半期ではヘルスケアソリューション事業は現状水準を維持していき、地球環境ソリューション事業での大型風力案件の資金化の目途が立ちつつあることから、最終的には通期業績予想に変更はございません。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業の当第2四半期累計期間は、売上高634百万円(前年同期比115.9%増)、セグメント利益39百万円(前年同期は23百万円の損失)となりました。

当セグメントの業績といたしましては、主要販売先である医療機関への営業活動のコロナによる影響は和らぎ、前期及び第1四半期に受注した『i-HIS』(クラウド型電子カルテ)も検収完了により売上計上でき始めたことから、セグメント利益が確保できている状況です。また、現在の受注残は219百万円となっております。今後の売上に寄与していくものと考えております。新型コロナウイルス検査運用システム、PCR検出試薬等の新型コロナウイルス関連商品の受注は依然として活発な状況であり、今期業績回復とともに社会貢献に寄与していくと思われま

地球環境ソリューション事業

地球環境ソリューション事業の当第2四半期累計期間は、売上高83百万円(前年同期比87.8%減)、セグメント損失41百万円(前年同期は27百万円の損失)となりました。

再生可能エネルギー分野では、太陽光発電案件に係る当第2四半期累計期間における売上計上は無いものの、第3四半期以降の売上計上に寄与していくものと考えております。

一方、GEOソリューション分野については、当社が国内代理店として販売するPix4D社製のドローン測量等の三次元画像処理ソフトウェア『Pix4Dmapper』は堅調に推移しております。また、地理空間情報や三次元画像処理を用いた大型設備の保守メンテナンスや、AIを活用したソリューションサービス事業を開始するとともに、広告宣伝費等を抑えた事により費用を削減しております。

トリチウム除去事業においては、以前から取り組んでいるトリチウム分離・濃縮実証試験が成功し、技術的に確信を持てる状況に至りました。今後においては、既に準備を進めている1/100スケールのパイロットプラントの建設着手、実際のALPUS処理水での試験を重ねて実稼働プラントの早期完成を目指しております。ALPUS処理水での試験は東京電力及び政府関係各所の協力が必須であり、これまでも折衝を重ねてきましたが、今後もトリチウムは分離ができることを世界に伝達し、あらゆる角度から関係各所に折衝を続けてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は、1,626百万円(前事業年度末比10.0%増)となりました。これは、現金及び預金が197百万円減少した一方で、売掛金が290百万円増加したこと等によります。

固定資産は、706百万円(同8.2%減)となりました。これは、関係会社株式が16百万円、その他の関係会社有価証券が50百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期会計期間末における総資産は、2,332百万円(同3.7%増)となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は、314百万円(前事業年度末比10.1%増)となりました。これは、買掛金が90百万円増加した一方で、その他が67百万円減少したこと等によります。

固定負債は、62百万円(同19.9%減)となりました。これは、長期借入金が15百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は、377百万円(同3.6%増)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、1,955百万円(前事業年度末比3.8%増)となりました。これは、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金が238百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期(通期)の業績予想につきましては、2020年11月12日付「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	945,134	747,695
売掛金	288,120	578,217
商品	22,808	28,043
仕掛品	28,161	27,590
貯蔵品	761	747
販売用不動産	—	20,000
未収還付法人税等	6,768	—
前渡金	198,824	231,390
1年内回収予定の長期貸付金	12,000	12,000
その他	47,893	52,494
貸倒引当金	△71,837	△71,936
流動資産合計	1,478,635	1,626,242
固定資産		
有形固定資産		
土地	288,000	288,000
その他(純額)	54,411	49,418
有形固定資産合計	342,411	337,418
無形固定資産		
ソフトウェア	72,077	73,709
その他	6,510	5,005
無形固定資産合計	78,588	78,714
投資その他の資産		
関係会社株式	46,726	30,163
その他の関係会社有価証券	163,285	112,697
長期前払費用	20,265	35,607
長期貸付金	153,000	147,000
その他	47,434	46,667
貸倒引当金	△81,953	△81,953
投資その他の資産合計	348,758	290,181
固定資産合計	769,758	706,314
資産合計	2,248,393	2,332,557
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,849	151,993
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	31,500	31,500
未払法人税等	5,480	10,696
製品保証引当金	2,698	3,903
その他	133,956	66,247
流動負債合計	285,485	314,340
固定負債		
長期借入金	73,910	58,160
退職給付引当金	4,554	4,665
固定負債合計	78,464	62,825
負債合計	363,949	377,165

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2021年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,992,531	2,111,946
資本剰余金	605,197	724,612
利益剰余金	△601,965	△771,908
自己株式	△111,949	△111,977
株主資本合計	1,883,814	1,952,673
新株予約権	630	2,718
純資産合計	1,884,444	1,955,392
負債純資産合計	2,248,393	2,332,557

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	980,602	718,820
売上原価	795,881	511,050
売上総利益	184,721	207,769
販売費及び一般管理費		
役員報酬	33,750	37,050
給料手当及び賞与	123,629	111,457
退職給付費用	6,347	6,416
法定福利費	21,085	19,765
旅費交通費及び通信費	31,326	25,231
減価償却費	6,215	7,898
株式報酬費用	86	258
地代家賃	27,422	28,323
支払報酬	22,190	20,633
貸倒引当金繰入額	33,474	98
その他	104,545	83,445
販売費及び一般管理費合計	410,074	340,578
営業損失(△)	△225,353	△132,809
営業外収益		
受取利息	910	2,216
受取配当金	150	75
受取保険金	2,865	—
その他	1,172	419
営業外収益合計	5,098	2,710
営業外費用		
支払利息	12,514	1,273
為替差損	22	700
支払手数料	19,050	8,683
新株予約権発行費	2,600	1,400
匿名組合投資損失	2,694	8,854
その他	—	259
営業外費用合計	36,882	21,171
経常損失(△)	△257,136	△151,269
特別利益		
短期売買利益受贈益	1,217	—
新株予約権戻入益	—	630
特別利益合計	1,217	630
特別損失		
関係会社株式評価損	7,768	16,563
特別損失合計	7,768	16,563
税引前四半期純損失(△)	△263,687	△167,203
法人税、住民税及び事業税	2,740	2,740
法人税等合計	2,740	2,740
四半期純損失(△)	△266,427	△169,943

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、新株予約権の行使により資本金が119,415千円、資本剰余金が119,415千円増加しております。

この結果、当第2四半期累計期間末において資本金が2,111,946千円、資本剰余金が724,612千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書計上額 (注)2
	ヘルスケアソリューション事業	地球環境ソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	294,141	686,461	980,602	—	980,602
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	294,141	686,461	980,602	—	980,602
セグメント損失(△)	△23,256	△27,113	△50,370	△174,982	△225,353

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用174,982千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自2020年10月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書計上額 (注)2
	ヘルスケアソリューション事業	地球環境ソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	634,959	83,860	718,820	—	718,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	634,959	83,860	718,820	—	718,820
セグメント利益又は損失(△)	39,620	△41,371	△1,751	△131,057	△132,809

(注)1 調整額に記載されているセグメント損失には各報告セグメントに配分していない全社費用131,057千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。